

お知らせ（学習ルート早見表）

～分析を「戦略」へ。まず中期経営課題を棚卸しする～

全5頁です（前付け3頁＋本編2頁）。ラベル（【**最重要**】＝赤／【**重要・次点**】＝オレンジ／【**任意・深掘り**】＝グレー）を目印に、上から順にお読みください。

■ 本筋（必須）ルート：p1～p5

「なぜ棚卸しが必要か → 課題抽出の3つのレンズ」を、一本道で押さえます。本セクションに深掘り（任意）の頁はありません。



お急ぎなら、まず p4～p5。ここが本体です。

p4「なぜ棚卸しが必要か」で課題整理の意味を、p5「3つのレンズ」でMust・Can・Willの視点をつかみます。第4講の出発点です。

※ 頁番号はスライド番号と一致しています（この早見表＝1頁目／スライド1）。

第4講 戦略論の基礎と戦略決定

～独自の武器を磨き、「勝てるシナリオ」を確定させる～

セッション1

中期経営課題の棚卸し

★ 本セッション：なぜ今「課題の棚卸し」が必要か

- 1 なぜ今「課題の棚卸し」が必要なのか？
- 2 課題抽出の考え方：3つのレンズで視る

セッション2

中期目標(KGI)とビジョン

ビジョン実現に必要な「土俵」を定義する

- 1 セッションの目的
- 2 【座学】「最低限必要な土俵」を定義する

セッション3

経営戦略論の全体像

企業・事業・機能の3階層で体系化する

- 1 戦略は3つの階層で考える
- 2 経営戦略の全体像を掴む
- 3 アンゾフの成長マトリクス
- 4 PPM：資源をどこに集中させるか
- 5 小企業の企業戦略の一般的アプローチ
- 6 事業戦略：「競合にどう勝つか」
- 7 機能別戦略（Functional Strategy）

セッション4

クロスSWOT分析

ビジョン達成の戦略オプションを抽出する

- 1 クロスSWOT分析
- 2 クロスSWOT分析の機能
- 3 各戦略階層の深掘り
- 4 ROI軸の新クロスSWOT分析の定義
- 5 意思決定の順序と資源配分の組合せ
- 6 中期目標（KGI）への反映
- 7 具体事例：老舗和菓子メーカーA社の変革

★ は現在地（本セッション）。本デッキはセッション1「中期経営課題の棚卸し」を扱います。

第4講 戦略論の基礎と戦略決定

～分析（第3講）を終え、いよいよ「戦略」を立てる～

【初めに】

前回の第3講では、PESTELや5Fで「外部の波」を読み、SWOTを通じて自社の強み・弱みと、超えるべき「壁（中期経営課題）」を特定しました。分析（現状把握）のフェーズは、これで完了です。第4講は、その壁を突破する「戦略」を組み立てる番。その第一歩がこのセクション、「中期経営課題の棚卸し」です。

1

なぜ改めて「棚卸し」か

第3講で決めた「壁」を、具体的な戦略へ落とし込むための準備。

2

戦略とは「資源配分」

限られたヒト・モノ・カネを、どこに集中し、何を捨てるかを決める。

3

3つのレンズで課題抽出

Must（外部要請）・Can（内部資源）・Will（ビジョン差）で深掘りする。

分析から、戦略へ。第4講の出発点として、まず「壁」を、戦略に落とせる形へ整えましょう。

1 中期経営課題の棚卸し

～なぜ今「課題の棚卸し」が必要なのか？～

1 【なぜ改めて「棚卸し」を行うのか】

第3講では、SWOT分析を経て、今後3年間で「これだけは絶対に解決する」と決めた最優先事項＝「**解決すべき最大の壁**」を特定しました。第4講で改めて「課題の棚卸し」を行うのは、その「壁」を単なるスローガンに終わらせず、具体的な「**戦略（ドメインと事業戦略）**」へと落とし込み、確実に壊すためです。

戦略とは「**資源（ヒト・モノ・カネ）の最適な配分**」

壁を越えた先の「中期目標（数字と姿）」に到達するため、現在のリソースを**どこに集中させ、何を捨てるのか**を明確にしなければなりません。

「課題の棚卸し」とは、単なる「困りごとのリストアップ」ではなく、**強みを磨き、弱みを補強して、最短距離で壁を突破するための「準備」**である。

1 中期経営課題の棚卸し

～なぜ今「課題の棚卸し」が必要なのか？～

2 課題抽出の考え方

～バリューチェーンを3つのレンズで覗く～

第2講で分析した**バリューチェーン（主活動・支援活動）**の各項目を、次の「3つの視点（レンズ）」で深掘りし、第3講で決めた「壁」を突破するための具体的な課題を抽出します。

1

外部からの要請（Must）

その活動で、市場や顧客の変化に対応するために「やらなければならない」ことは何か？

2

内部資源の限界と活用（Can・Cannot）

壁を突破するための「武器（強み）」はあるか？逆に「足かせ（弱み）」は何か？

3

ビジョンとのギャップ（Will）

その活動をどう変えれば、目指すべき「壁を越えた先の姿」に近づけるか？